

2012年8月2日

東京工芸大学の学生有志団体「L project」による復興支援活動 被災地の小学校に画材を提供／仮設住宅でのアートワークショップ

東京工芸大学(学長:若尾真一郎、所在地:神奈川県厚木市)の学生有志団体「L project」ではアートを通して岩手県大船渡市の復興支援を行っています。

東日本大震災津波で大きな被害を被った岩手県大船渡市では、懸命な復興活動が続けられています。その状況を体験した大船渡市出身の学生、千葉紘香は「地元の役に立ちたい」という思いから有志団体「L project」を発足。5名の賛同者と、多くの協力者を得て、自分たちが学んでいるアートの力を活用した独自のボランティア活動を行っています。

8月6日(月)から11日(土)にかけて大船渡市を訪れ、小学校への画材の提供や、仮設住宅で利用するオリジナルうちわを制作するアートイベント「手づくりクレヨンでうちわ祭り！ー自分だけのオリジナルを楽しもうー」を開催します。



L project メンバー

千葉紘香、高橋由起、葛西亮介、関口花汝、小山田舞子、山崎菜緒 (芸術学部デザイン学科2年生)

活動目的

1. 大船渡という地域から多くの人々が離れているという現実を打開すべく、大船渡市民の記憶にある「良い海」また「海岸」を思い出してもらい、今後も地元との良い関係、また立ち向かう姿勢でいてもらいたい。被災をしてもこの地は変わらず暖かい場所であることを伝えたい。
2. 東京を始め大都市の人達に、うすれていく震災の事と被災地の状況や気持ちを再掲示して共に歩む意識を共有する。

活動履歴

2011年7月 L project 発足

8月 岩手県大船渡市での災害ボランティア参加(建物の解体／土上げ／部屋掃除 他)。

現地の小学校6校を訪問し、震災前に小学生が描いた海の絵を収集(155枚)。

集めた絵を元に、大船渡のシンボルである「穴通磯」をモチーフにしたモザイク画を制作。活動のメインビジュアルとして使用。



大船渡の子供達が描いた海の絵を穴通磯をモチーフにモザイク画を作成
小学生が描いた海の絵を元に制作したモザイク画



災害ボランティアに参加

- 2012年3月 岩手県大船渡市でのボランティア活動・追悼式への参加。
4月 メインビジュアルを掲げ、東京工芸大学学内での募金活動を実施(5日間)。
5月 同じく新宿での募金活動を実施(3日間)。
6～7月 同じく渋谷での募金活動を実施(5日間)。



募金活動の様子

今後の予定

2012年8月6日(月)～11日(土)に大船渡市を訪れ、仮設住宅でのアートイベント等を行う予定。

1. 絵の収集に協力していただいた各小学校に、要望にお応えした画材をお贈りする。
2. 集めた絵を元に作成した大漁旗を、おおふなど夢商店街に掲示する。
3. 各仮設住宅で、オリジナルクレヨン制作と、そのクレヨンを使ったオリジナルうちわ制作のアートイベントを開催。仮設住宅での夏を少しでも涼しく過ごせるよう、制作したうちわをプレゼントする。

<アートイベント訪問予定>

- 8月 7日(火) 13:00～15:00 上平仮設住宅
8月 8日(水) 13:00～16:00 大船渡北小学校の仮設住宅
8月 9日(木) 13:00～16:00 大船渡市立第一中学校の仮設住宅
8月 10日(金) 13:00～16:00 猪川小学校の仮設住宅

また、仮設住宅では自分の住宅の見分けが付きにくいという声を受け、アートイベントで描いていただいた絵を編集し、自分の住宅に掲示してもらおうといった活動も予定中。

活動状況報告ページ

Facebook <http://www.facebook.com/lproject.3>

Twitter https://twitter.com/Lproject_tl

メンバーの声

少ない人数で始めた活動ですが、多くの人に関心を持っていただき、また協力して下さることに驚きとありがたさを感じています。多くの方の力をお借りして、少しでも復興の役に立てるよう活動を継続したいと思います。

【取材に関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 学事部広報課
担当：田川、林

電話：046-242-9600 / FAX046-242-9638
e-mail：university.pr@office.t-kougei.ac.jp